NEWS RELEASE

www.jogmec.go.jp

独立行政法人 エネルギー・金属鉱物資源機構

問合せ先: CCS 事業部 地質構造調査課 加藤、吉松 電話:03-6758-8701

広報担当:総務部 広報課 長田 電話:03-6758-8106



ベトナムにおける CCS 事業推進に向けた協力覚書を締結

ーベトナム国内における CCS 事業立ち上げに係る協力推進ー

JOGMEC(本部:東京都港区、理事長:高原 一郎)は、2025年10月17日、ベトナム国家産業エネルギーグループであるペトロベトナム社、ENEOS Xplora社、ギソン2パワーLLCと共に、ベトナムにおけるCCS (Carbon dioxide Capture and Storage)事業の立ち上げに向けた協力に係る覚書(MOU: Memorandum of Understanding)を締結しました。

本覚書は、ベトナム国内におけるCO2排出源からの回収・分離、輸送、貯留を網羅するCCSバリューチェーンの構築に向けた協力を目的としたものであり、同日マレーシア・クアラルンプールで開催された「アジア・ゼロエミッション共同体(AZEC)」第3回閣僚会合におけるMOUセレモニーにて披露されました。

JOGMEC は、2025 年 10 月 17 日、ベトナム国家産業エネルギーグループであるペトロベトナム社、 ENEOS Xplora 社、ギソン 2 パワーLLC と共に、ベトナムにおける CCS 事業の立ち上げに向けた協力に係る MOU を締結しました。本覚書は、同日マレーシア・クアラルンプールで開催された「アジア・ゼロエミッション共同体(AZEC)」第3回閣僚会合における MOU セレモニーにて披露されました。

JOGMEC とペトロベトナム社は、2007 年に包括的協力覚書を締結して以来、エネルギー事業に関連する様々な共同事業に取り組んできました。2022 年には、MOU の対象範囲に CCS、水素等を含め、関係を一層強化しております。

この枠組みに基づき、両者は 2024 年 2 月にベトナムにおける CCS 調査に関する共同スタディ協定を締結し、民間主導によるベトナム国内での CCS 事業の立ち上げに向けた各種スタディおよび理解促進活動を実施してきました。スタディの一部は ENEOS Xplora 社に委託され、ベトナム沖合において有望な CO2 貯留エリア候補が確認されました。

また、理解促進活動を通じて、現地タインホア省でギソン 2 火力発電所を操業するギソン 2 パワーLLC が、同発電所から排出される CO2 の削減を目的とした CCS 事業への関心を表明しました。これを受けて、ペトロベトナム社および ENEOS Xplora 社を含む四者による協力体制が構築され、今回の協力覚書締結に至りました。

本覚書は、ベトナム国内における CO2 排出源からの回収・分離、輸送、貯留を網羅する CCS バリューチェーンの構築に向けた協力を目的としており、今後の脱炭素社会の実現に向けた重要な一歩となりま

す。本覚書の締結により、ベトナムにおける CCS 事業環境の整備が一層進展することが期待されます。 JOGMEC は、今後も AZEC への積極的な貢献を通じて、カーボンニュートラルの実現に向けた日越両国 の協力関係の強化に努めてまいります。





署名式

左から、青山 ENEOS Xplora 常務執行役員、 森 エネルギー事業本部長、 ミン ペトロベトナム探鉱・生産副部長、 チョイ ギソン 2 パワーLLC 社長

AZEC 第 3 回閣僚会合における MOU セレモニー

左から、青山 ENEOS Xplora 常務執行役員、 森 エネルギー事業本部長、 武藤経済産業大臣 ロン ベトナム商工副大臣 ミン ペトロベトナム探鉱・生産副部長、 チョイ ギソン 2 パワーLLC 社長

■ 参考

【開催報告】ベトナム国家産業エネルギーグループ ペトロベトナムと CCS への理解促進ワークショップを開催 —ベトナムでの CCS 事業環境構築に向けて— (2025 年 6 月 13 日)

【開催報告】ベトナム国営石油会社ペトロベトナムと CCS 事業環境ワークショップを開催 ~ベトナムでの CCS 事業環境構築に向けた初の試み~(2024 年 11 月 8 日)

<u>ベトナム国営石油会社と覚書を締結~CCS/CCUS事業に関する協力の発展に合意~(2023年3月6</u>日)

<u>ベトナム国営石油会社との協力覚書の延長及び協力事業の拡大 ~水素・アンモニアの製造及び</u> <u>CCS/CCUS 事業に関する調査でも連携~(2022 年 11 月 24 日)</u>